

百人一首で世代交流
児童館つべつんで伝承遊び



1月28日、児童館つべつんで、おじいちゃん・おばあちゃんとの交流会が開催されました。これは子供たちに昔ながらの「あそび」を知ってもらうことを目的に、昨年から行われています。

当日は、子供たちとお年寄り約40人が百人一首で交流を図りました。この日のために子供たちは昨年12月末から毎週1～2回、3人1チームで対戦し練習を重ねてきました。飛び入りで参加した子供もいたこともあり、お手つきや取る札をチーム内で教えあっても良いというルールを設定して、お年寄りも参加し対戦を行いました。中には一人で30枚以上の札を取る子供もおり、参加したお年寄りは「しっかり札を覚えていてびっくり。昔はよく百人一首をやっていたので、またやりたいですね」と感想を述べていました。

1月23日、農業者トレーニンングセンターで科学の体験教室（津別町子ども会育成連絡協議会主催）が開催され45人の幼児から小学生の子供が参加しました。初めに、北見東小学校の橋本先生が気圧の変化を利用した実験を紹介。水が入ったフラスコを火にかけ、その注ぎ口に風船を被せるとどうなるかという実験では、「風船は膨らんでまたしぼむ」や「膨らまない」など子供たちの予想が飛び交う中、一度膨らんだ風船は徐々に縮み、反対にフラスコ内に入り込み膨らむという結果に子供たちはとても驚いた様子を見せていました。

会場には他にも『磁石でつくるろう』や『紫外線ストラップ』、『不思議な偏光板』や『ロケット熱気球』など全12種類の科学の力を利用した実験が用意され、子供たちはそれぞれの実験を楽しんでいました。



液体を気体にする実験の様子

不思議な現象に沸きたつ好奇心
科学の体験教室で驚きがいつぱい！



元・五輪アルペンスキー代表
川端絵美スキー教室が開催

2月5日、6日の両日、元・オリンピックアルペンスキー競技日本代表選手「川端絵美」さんのスキー教室（教育委員会社会教育課主催）が、共和のファミリースキー場で行われました。

2月5日は、本岐小学校のスキー授業で指導にかかり、終了後は、津別小学校・図書室に移動し、生徒と給食を食べ、交流を図りました。

2月6日は、町内小学生4年生以上、中学生までの30人が参加したスキー講習会が開催され、参加した子供たちは、スキーを楽しみました。



津別高校講座
パソコン操作に挑戦

2月10日、12日、15日の3回、津別高校3階の情報処理室で、町民を対象にしたパソコンの公開講座が開催されました。

パソコンの簡単なマウス操作や文字入力ができ、基礎知識を持っている方を対象にした講座には12人が参加しました。

使用する教材は、学校で用意され、今回は「ワードで案内状を作ってみよう」というテーマで、写真、イラスト、地図などの作成の基礎を学びました。

受講者は、講師4人の指導を受けながら真剣な眼差しで、パソコンを操作していました。



プロの語り思わず聴き入り
ました



一瞬の技に観客からは歓声が上がりました

社会教育講座に多くの人が出席
寄席落語とマジックショーが開催

2月5日、中央公民館・講堂で、社会教育講座（教育委員会・社会教育課主催）が開催され、落語家、真打・入船亭扇治さんとマジシャン、カズ・カタヤマさんの舞台を楽しみました。

入船亭扇治さんの「落語よもやま話」では、客席の楽しみ方を楽屋の裏話を交えて語り、小気味良い話し方で落語を披露しました。

カズ・カタヤマさんは、ライブ、イベント、テレビ等で活躍するマジシャンで、関西弁のコミカルなトークの面白さとマジック本来の不思議な舞台でした。

会場の人は、本物の落語とプロのマジックショーを、時間を忘れ堪能していました。

1月22日、中央公民館で、バイオマスエネルギーとして利用する方法を考える地域説明会（北海道バイオマス発見活用協議会・津別町主催）が開催され、林業関係者など約60人が参加しました。

説明会では、バイオマスの今後の可能性、取り組みについての情報提供がありました。

事例報告では「木質バイオマスを活かした地域づくり」と題して、産業課の深田主幹が、津別町の取組を紹介しました。また、津別単板協同組合の松本次長が「北海道における木質バイオマスコージェネレーションの取組」と題して、



単板工場の熱電供給の利用状況について報告がありました。

1月23日は、津別ペレット協同組合の製造施設や丸玉産業(株)津別工場などを視察し地域資源を利用したエネルギー開発について情報の共有が行われました。



仲良く元気で楽しく！
長寿者夫婦の集いに23組参加

1月27日、中央公民館で長寿者夫婦の集い（社会福祉協議会主催）が行われ、2人合わせて140歳以上の夫婦23組がゲームや食事で交流を深めました。最初に津別駐在所の守山所長による講話が行われ、冬の交通安全や振り込め詐欺についての注意が呼びかけられました。

チーム対抗のスカットボール対決では、8チームが対戦し上位4チームには豪華景品が贈られることもあり、いずれのチームも真剣な表情で高得点を狙い続けました。ゲームの後には、寄せ鍋やいなり寿司などを食べ、おいしい料理に会話も弾んでいました。

60歳以上の男性を対象にした男の料理教室（社会福祉協議会主催）が2月3日、17日、25日に中央公民館で実施されました。昨年引き続き開催された教室は、バランスの良い食事と高年齢になってからも料理をすることが出来る練習を目的に行われています。

初回の3日は、玉ねぎスープと豆腐ハンバーグ、オレンジゼリーの3品に挑戦。17日にはタラの長芋蒸しや肉じゃが、枝豆ご飯など4品、25日にはケーキ寿司や水ぎょうざ、サラダなど5品の大皿料理の調理を行いました。



男の料理教室が開催
豆腐ハンバーグなどに挑戦！